

## 「歴史館だより」第100号をむかえて



茨城県立歴史館長 人見 實徳

「歴史館だより」は、昭和49年7月の創刊号以降、号を重ねまして、本号で100号をむかえました。区切りの号ということもありますので、一言ごあいさつ申し上げます。

茨城県立歴史館は、昭和49年9月の開館以来、今年で35年目を迎えます。

当館は、初代館長の故岩上二郎氏が「茨城県歴史館報」第1号の「発刊にあたって」において記しているように、「かけがえのない先人の遺産を収集・整理し、保存をはかり、また調査・研究をすすめ、その結果をひろく一般に公開することを目的としています。具体的には、文書館としての機能と、博物館としての機能をあわせもち、しかもそれらを有機的に結合した総合的機関として誕生」しました。

当館の運営管理は、県条例で規定された「歴史に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、必要な施設を設け、公衆の利用に供し、その教養、調査研究等に資すること」という設置目的を達成するために、文書館機能と博物館機能を充実させ、かつ両機能を総合的に発揮するように努めているところです。

例えば、主要事業である展覧会においては、調査研究により歴史的な検証を深め、モノ資料とフミ資料をあわせて展示することにより、誰にでもわかりやすく紹介し、茨城の歴史等について明らかにしています。

また、平成18年度に導入された指定管理者制度を契機に、「県民とともに作る誰にもやさしい歴史館」という館運営の理念を掲げて、「館機能の充実」と「管理運営の充実」を図るように努めています。

「館機能の充実」では、文書館機能と博物館機能を十分に発揮させ、「質の高い史資料の収集・保存」、「茨城の歴史を明らかにする調査研究」、「展示」、「県行政文書の収集・保存・公開」や、「多くの県民に満足いただける教育普及事業」など各種事業を積極的に展開し、茨城の歴史・文化を情報発信しています。

「管理運営の充実」では、入館者へのアンケートの実施をはじめ、モニター制度、ボランティア制度、関係団体との連携などにより、県民のニーズに沿った館運営を行い、学校教育への支援や、生涯学習の推進にも力を入れています。

具体的には、展示のテーマを学校教育に役立つ内容としたり、学校への「出前講座」を充実させるとともに、家族そろって来館しやすくするために、高校生までの入館料を無料にするなどの方策を実施し、子どもたちが早くから茨城の歴史に親しめる環境づくりを図っています。

また、歴史教室、展示に関連する講演会の開催や、公民館等への講師派遣などを実施し、「学び」の場の提供に努めています。

これからも、県民サービスの向上と効率的な管理運営に努め、「県民とともに作る誰にもやさしい歴史館」の実現を目指して、質の高い、しかも、わかりやすい情報を提供し、県民に親しまれ、賑わいのある歴史館にしていきたいと思っております。

今号で100号をむかえる「歴史館だより」は、開館以来、その時々茨城県立歴史館の情報を発信してきました。現在は、年2回の特別展の時期にあわせて、当館のホームページに掲載しています。バックナンバーを読み返してみますと、今までの様々な営みが現在の歴史館の礎となっていることが、手に取るようにわかります。

今後も、茨城県立歴史館の活動の歴史として、この「歴史館だより」が多くの方々の目にとまるよう、努力して参りますので、なお一層のご支援をお願い申し上げます。